



実入試ではこんな出題！

道順を説明する

次の説明を読んで、あとの問いに答えよ。

〈千葉〉

ある晴れた日に、あなたが散歩に出かけたとき、自転車で乗ったおじいさんから、略図の中の「公民館」までの道を通りかかったとき、自転車で乗ったおじいさんは、近隣の地区から、孫のピアノの発表会の会場へ向かうところだということだ。

略図の  の道をAとします。 の道をBとします。Aの道は距離が短いですが、途中に急な上り坂があります。一方、Bの道は平らで走りやすいですが、目的地まではAの道の約二倍の距離があります。

問 あなたはおじいさんに、AまたはBの道順をどのように説明するか。次の(1)、(2)について、指示にしたがって答えよ。

- (1) A・Bどちらかの道を選ぶにあたって、まずおじいさんがどのような様子なのか、あなたが次のア、エのうちから一つ仮定して、その記号を書け。
- ア 急いでいるようだ。 イ 体力がなさそうだ。
- ウ とても元気そうだ。 エ 発表会までは時間の余裕がありそうだ。
- (2) A・Bどちらかの道を選び、その道順についての説明を、次の注意事項にしたがって書け。
- なお、どちらの道を選んでも、そのこと自体は採点に影響しない。

(注意事項)

- ① (1)でおじいさんの様子について仮定したが、あなたが、そのおじいさんにどのような配慮をしているのかがわかるように書くこと。
- ② 字数は、百五十文字以上、二百文字以内(句読点やかぎカッコも字数に数える。)とすること。

練習問題

① グラフと関連させて書く

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。
美加さんは、夏休みに北海道の祖父の家に行きました。祖父は、

古池や蛙飛びこむ水の音
芭蕉の、世界的に有名な句です。カワズはカエルです。芭蕉は、この俳句のできた背景を自ら披露しています。実はこの俳句は、先に「蛙飛びこむ水の音」だけできていたのです。そしてなかなか「古池や」が浮かばなくて、考えあぐねて、弟子に、「おまえならどうする」と問いかけました。すると、「山吹や蛙飛びこむ水の音」というのはどうでしょう、と提案してきました。でも、芭蕉はそれを採用せず、「古池や」として、この句を完成させたのです。

なぜでしょう。それは、蛙と山吹を組み合わせて詠むことは、平安時代以降の歌人の常識そのものであり、その枠を一步も出ていなかったので、そこで芭蕉は、「古池や」にしたのです。

また、古くから、蛙を詠んだ人たちは、その美しい鳴き声に注目してきました。これも常識でした。しかし、芭蕉はそれを嫌い、水音だけにしました。

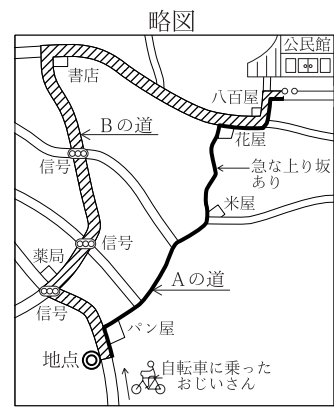
これらが、この俳句の魅力になって、一般にひろまっていったのです。
(石寒太「歳時記」の真実)による)

という文章を美加さんに見せて、
「松尾芭蕉は、言葉の使い方に敏感な人だったんだな。松尾芭蕉が、言葉遣い一つで句の印象が変わってしまうと感じていることが、興味深くてね。美加も、自分の使っている日本語に少しでも興味を持ってくれるとうれしいなあ。」と言いました。

それからしばらくして、国語の授業で新聞作りをすることになりました。美加さんは、祖父との話を思い出して、言葉をテーマにした資料を集めました。その中に、全国の十六歳以上の男女三千人を調査対象とした、「平成十五年国語に関する世論調査」(文化庁)があり、いくつかの言葉を取り上げて、そのような言い方をするかどうかを尋ねていました。

美加さんは、この調査項目についての結果をグラフにして、次のような順序で記事を書きました。

「読者の興味を引き、内容の説明になる見出しをつける。」↓「グラフを載せ、そのグラフの説明をする。」↓「グラフから読み取れる最も特徴的なことの一つを取り上げる。」↓「自分の意見を加える。」



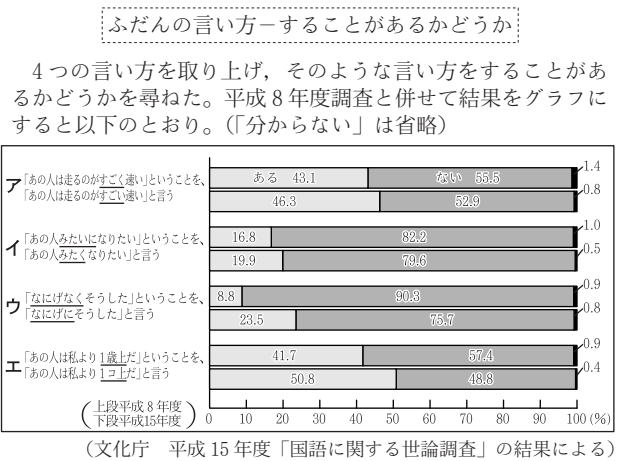
模範解答

(1) ア おじいさんは急いでいる様子なので、走るのは大変ですが、私は、距離が短くて早く着けるAの道を教えてさしあげます。
この先のパン屋のところを右に曲がり、三つ目の角の米屋のところを左方向へ進み、急な坂道をのぼり、花屋の角を右に曲がり、次の角の八百屋のところを左に曲がると、正面に公民館の建物が見えてきます。

(2) (1) エ お孫さんのピアノの発表会までは、時間の余裕がありそうなので、私は、距離は長いけれども、平らで走りやすいBの道を教えてさしあげます。
この先の信号を右に曲がり、信号のある交差点を二つこえて、書店のあるところを右に曲がり、右手に花屋を見て、次の八百屋のところを左に曲がると、正面に公民館の建物が見えてきます。

※解き方※
(1)で選んだおじいさんの様子によって、(2)でおじいさんにどのような配慮をしたかという内容が変わってくることに注意する。A・Bの道順の特徴を正しくとらえ、(1)で選んだ仮定とつじつまが合うようにしなければならぬ。また、書いた文章と地図を丁寧に照らし合わせ、正しい道順を説明しているかどうか確認すること。

問 美加さんは祖父の思いを受け止めて、どのような記事を書いたと思われるか。次の(条件)①・②に従って、の記事を完成させよ。



- (条件)
- ① 読者の興味を引き、内容の説明になる見出しを(1)につけること。
- ② (2)には、二段落構成で、第一段落ではグラフから読み取れる最も特徴的なことの一つを取り上げ、第二段落ではそれに対する意見を書くこと。

(1)

(2)